



【 改めて井波を感じる 】

○ 11月3日の文化の日は、快晴で、半袖で歩ける日でした。この日、私は、約2時間半かけて、瑞泉寺を中心とした井波の町中を歩きました。6年生が「井波を感じてみません課」の追究学習をしており、私も感じてみたいと思った



のです。また、18日（金）の教育実践発表会で来校される奈須先生に井波を知ってもらうのに、どこを案内すればよいか探すという目的もありました。

○ 私が平成3年に井波小に勤務したとき、教育センター主催で井波地域を巡る研修会がありました。私の明確に残っている記憶では、綿貫代議士の自宅を見たことが最も印書に残っています。文化の日に、約30年ぶりに目にした次第です。



○ また、樹齢が「450～530年」、幹周りが「7.6m」、樹高が「40.4m」の「松島大杉」の解説板に書かれている、「瑞泉寺と井波城の威容を称えてきた歴史の証人」という文を見て、まさに井波を感じました。

○ 他にもいろいろ見たのですが、初めて目にするものがあれば、これまで目にしているはずのものを改めてよく見たものもあります。例えば、八日町通りの所々にある木彫刻、八日町通りの



入り口にある「綽如上人」「水吹きノ龍」などに関する木彫刻、実際にのみを使って木彫りをしておられる彫刻師さんの姿など、感動しました。「井波って素晴らしい歴史や文化があるな。」と改めて感じ、この地に生きている井波っ子は恵まれていると感じます。とても充実した日を過ごすことができました。